

Kawasaki INnovation Gateway

Newsletter Vol.02

2013年3月発行



総合企画局臨海部国際戦略室
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
TEL:044-200-3690 FAX:044-200-3540
<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/57-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

キングスカイフロント第2期となる施設 「川崎生命科学・環境研究センターLiSE」 OPEN!



ライトアップされたLiSE



多摩川を臨む開放的な眺望

ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する新たな拠点として、2010年から整備が本格的にスタートした殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」。

このキングスカイフロントにおける中核施設の一つとなるのが、「川崎生命科学・環境研究センター LiSE (ライズ=Life Science & Environment Research Center)」です。

このLiSEには、地域の良好な環境を守るため、大気や水質の監視・調査・研究など、環境分野の総合的な研究を進める「川崎市環境総合研究所」や、感染症の発生や食の安全・安心を脅かす様々な健康危機管理に関する専門的な試験・研究を行う「川崎市健康安全研究所」、そして市内企業の海外展

開などを支援する「川崎市海外ビジネス支援センター」などの川崎市の機関が入居し、運営を開始しています。

また、民間ラボにはライフサイエンス産業の開発支援・産業化支援につながる研究などを行う「公益財団法人神奈川科学技術アカデミー」をはじめ、様々な民間企業が本施設に進出します。

LiSEでは、研究者の相互交流を促す機能を充実させることにより、本施設のみならず外部の様々な企業・研究機関との共同研究を促進することで、わが国だけでなく世界各国が直面する様々な課題の解決に向けた取組みを活性化させ、国際的なライフイノベーション・グリーンイノベーションの実現を目指します。

LiSEは環境に配慮した設計

- 各種省エネ技術の導入により、1次エネルギー^{*1}消費量の削減を目指します。
- CASBEE^{*2}のSランク^{*3}を達成しました。また、病原体や有害化学物質等が外部へはもちろん施設内へも決して漏出しないよう、細心の注意を払い設計しています。内部にいる研究者をはじめその他スタッフや、訪問者の皆様にも危険が及ばないよう、最大限の配慮をした設計になっています。

*1：石炭や石油、天然ガス、水力等、自然界にあるままの形状で得られるエネルギー。

*2：国土交通省が中心となり開発された建設環境総合性能評価システム

(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)。

*3：CASBEE の評価基準で、最高ランクのこと。



- ①建物外周部の壁を二重構造化することにより、日差しの制御・排熱が可能。
- ②太陽熱と空気熱を利用し、シャワー給油設備に採用。
- ③トップライト（天窓）の設置による自然採光。上部にたまる熱気を回収し、暖房としても利用。
- ④地中熱を利用した水冷ヒートポンプエアコンにより、省エネルギー空調システムを導入。
- ⑤屋上に70kWの太陽光パネルを採用。
- ⑥ゾーンごとに人の在・不在を検知し、照明・空調を自動制御（T-zone-saver）。

LiSEから世界へ —世界最高水準の研究開発が集結

- 現在LiSEには、従来の公害研究所、公害監視センター、環境技術情報センターが統合し新たに発足した「川崎市環境総合研究所」や、健康危機管理対策全般を科学的・技術的に支援する「川崎市健康安全研究所」をはじめ、ライフサイエンス・環境分野におけるスペシャリスト集団が入居しています。そして、今後もイノベーションを起こすべく様々な企業・団体の入居が予定されています。

1F 研究交流スペース

◆川崎市海外ビジネス支援センター

通称KOBS（コブス）= (Kawasaki City Overseas Business Support Center)

- ワンストップサービスにて、川崎市内企業の海外展開の支援を行います。海外に精通したコーディネーターが直接企業を訪問し、①海外展開ニーズの把握から、②販路開拓サポート、③海外展開戦略にかかる個別・具体的支援まで、市内企業の各ステージに合わせた支援を、関係機関と連携し実施します。また、窓口相談も行います。



ホール

◆大会議室

- LiSEの入居者をはじめとする多くの方にご利用いただけるスペース。施設の共用スペースとなっているこの会議室を通じ、入居者のみならず、近隣企業・機関の研究者や開発者による相互交流が生まれ、さらなる研究活動の促進を目指します。収容人数は最大150名。



大会議室

◆UNEP連携プロジェクト事務所／視察研修室

- UNEP（国連環境計画）をはじめとする国際機関との連携による各種取り組みを行います。海外からの視察や研修等の受入れ等も実施。

2F

川崎市健康安全研究所

- 感染症対策、食の安全・安心、生活衛生対策等、市民の健康で良好な生活環境を確保するための科学的・技術的中核施設として、従来の衛生研究所の機能を高度化し、調査研究、試験検査、研修指導、公衆衛生情報等の収集・解析・提供を行います。



3F

川崎市環境総合研究所

- 多様化、複雑化する環境問題に対応するため、既存の「公害研究所」「公害監視センター」「環境技術情報センター」を再編・統合し、それぞれの機能を高度化するとともに、研究所・大学・企業等と連携し、環境に関する総合的な研究を行う拠点として開設しました。



4F

民間ラボ

◆株式会社エスアールエル

- 受託臨床検査事業(医療機関から受託された患者の検体を分析)を行っているエスアールエル。LiSEでは、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区が目標とする「個別化医療・予防医療」を実現するための一環として、アミノ酸技術による新規の疾患スクリーニング技術(アミノインデックス技術)を活用したがん検査や、特定健康診断を広く社会に導入・普及することを目指しています。これにより同社では主に、LiSEにおいて様々ながんや生活習慣病に対するアミノ酸分析とその結果の解析を行います。

◆株式会社天然素材検索研究所

- 医薬品・機能性食品素材の有効性や安全性の受託試験業務ならびに実験小動物用床敷材「パルマス」、実験施設用洗浄剤「クリアウォッシュゼロS」の製造・販売を行っております。

◆公益財団法人神奈川科学技術アカデミー 通称=KAST (Kanagawa Academy of Science and Technology)

- 先端的かつ高度な研究の推進と技術移転、科学技術革新を担う人材の育成、地域中小企業のものづくり支援などの事業活動を展開しているKAST。研究拠点の一部をLiSEに移し、科学的根拠のある機能性食品(生薬)等の評価や創出についての研究を行い、「健康・アンチエイジング」に関する商品開発を目指しています。また、血中を移転するがんを簡易に診断できる装置の開発につながる研究等も行います。

*現在民間ラボ内には空きスペースがあり、入居希望の企業を募集しております。

詳細は、大成建設株式会社：TEL 03-5381-5169 FAX 03-5381-5543までお問い合わせください。

LiSEに続き、第3期となる 「(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター」の整備が決定！

キングスカイフロントの地に、産学官が一つ屋根の下に集い、工学と医学の融合により日本のものづくり力を活かして、難治性疾患の診断・治療の実現を目指す「(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター」の新設が決定。ナノ医薬品、ナノ診断・治療機器、ナノ再生医療支援など「ナノ医療技術」の研究を実施します。

※平成25年3月7日に文部科学省の「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」に採択されました。

これまで、一大学が主体となり複数の企業との連携を図っていましたが、本事業では公益財団法人川崎市産業振興財団が主体(事業者)となることで、複数の大学・企業が共同で研究開発を行うことが可能となり、これまで以上に大きな研究成果の創出が期待されます。

Column KAWASAKI

殿町国際戦略拠点キング スカイフロントに、
この度オープンした「LiSE」。
最先端の研究・開発を行う機関・企業をはじめ、
オシャレなカフェではこだわりのパンや
美味しいコーヒーを楽しむこともできる注目のスポットです。
神奈川県在住のミュージシャンOkapiが、
そんなLiSEの魅力をお届けします!



Okapi:ミュージシャン(スティールパン奏者)。洗足学園音楽大学在学中にスティールパンバンド「Pan Pop Paradise」結成。演奏活動の他、川崎市広報番組のレギュラーを務め、川崎を拠点に幅広く活動中。



有名コーヒー店と
コラボレート
「モトヤエクスプレス・
フォルテ」

ここは、障害のある方たちが生き生きと働いている就労支援施設のカフェで、川崎市の新しい障害者福祉への取組みの一つとして、最も注目されている施設です。



【営業日時】
平日8:00～18:00
(ランチタイム11:30～14:00)
土日祝日定休
【問合せ】
044-589-5411



まちびらき記念イベント
「キングスカイフロント
サイエンスフェスティバル



3月28日(木)、キングスカイフロントが正式に「まち」としてスタートすることを記念して「サイエンスフェスティバル」が開催され、大勢の来場者でにぎわいました。IPS細胞を使つた再生医療など、世界最先端の研究開発が行われている“サイエンスのまち”にぴたりのこのイベントでは、様々な科学実験や工作教室など、楽しみながら科学を学べるコーナーがもりだくさん。キングスカイフロントは市民皆さんに開かれた「サイエンス交流の場」となることも目指しています。

中でもNHK・Eテレで放映中の「大科学実験」によるサイエンスショーや、空気の性質や振り子の不思議を、参加者も一緒に実験！ お子さんはもちろん、大人も楽しめるイベントの数々に、来場者のみなさんはたくさん笑顔の花咲かせていましたよ。

